

3月26日、フェスティバルのこの日はあいにくの小雨でした。しかし、トクイシティ平塚総合体育館の地下にある弓道場に121の方が来てくださり、81の方が実際に弓と矢を手にし、的に矢を射る体験をして下さいました。この日は特設の大的を28m先に設置し、我々担当は的まで届いてくれと心にささやいたのです。

体験された方々は異口同音に、「難しいけれど面白い」と言っておられました。そうなんです。弓道は初心者であれ、何十年ものベテランであれ「難しいけれど、面白い」、この魅力を知っているのです ^^

近々、弓道教室の案内を致しますので、「難しいけど、面白い」を是非体験してみてください。



【美しい受付の方々・・・おヨ ^^! 誰かが選任しました！】

○受付の左側は柔道場、右側に弓道場があります。



【平塚市弓道協会会長（射手）宮田融範士八段による矢渡し】

○「矢渡し」は、その行事の成功を祈願して行事の最初に矢を射る儀式。

○左に座している者は「第一介添え」。射手を補佐する役目。

的の近くに「第二介添え」が控えていて、射られた矢を取扱います。



【弓道協会五名（五段）による射礼】

○射礼は祭祀、式典、その他晴れの場所において、礼法に従って射を行うものです。



【体験してまあ〜す ^^】



○射場の 28m 先に安土（あづち）があり、そこにカーの大きな特設的と直径 36 cm の的があります。

本フェスティバルを以って、28 年度の平塚市弓道協会の行事は終了となりました。この 1 年間、会員一同は心を一つにして多くの行事を遂行しました。

そして、射場に立ち、作法に従い弓矢を操作し、「弓は心で引くものだ」ということを想い、自らに厳しく修練し、多くの方が成長し昇段したのです。